

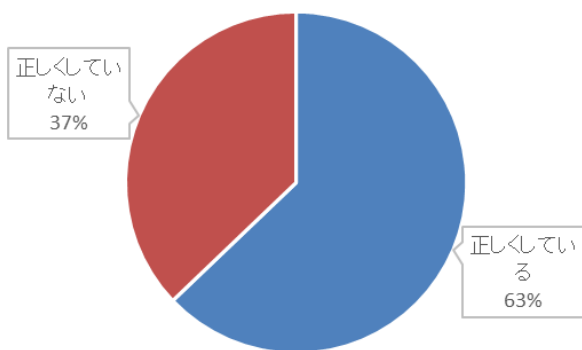
働きやすい職場づくりアンケートより

2023 熊本県教職員組合 その1

熊本県教職員組合では今年もアンケートを実施し、昨年を上回る 2312 名の方に回答を寄せていただきました。ご協力ありがとうございます。おもな結果をご報告させていただきます。

在校等時間の正しい記録5%改善される

正しい在校等時間の記録

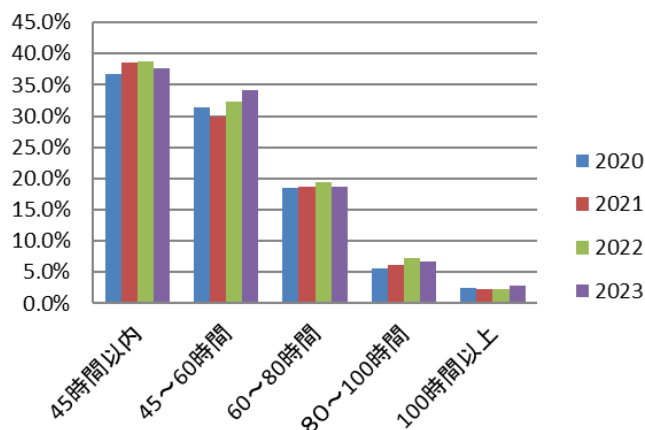


「時間記録後に残業したり、休日に学校で仕事をするときに記録をしなかったり、部活時間を記録しなかったりすることはありますか?」とたずねたところ全体で37%（昨年は42%）の人が「ある」と回答し、5%の改善がありました。理由としては、説明が不足しているため相変わらず「意味がない」「45時間を超えると指導がある」

「みんなが記録していない」といった声があります。熊本県の「在校等時間の上限等に関する方針」では、その目的を「教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育水準の維持向上に資するため」としています。まずは在校等時間を正しく記録することが大切です。県の方針にも「実際の時間より短い虚偽の時間を記録し、又は記録させることがあってはならない。」と記されています。

上限規制以来初めて 45 時間以内の割合が前年度を下回る!

ひと月当たりの超勤時間



上限規制の45時間以内の増加が止まり、45~60時間の増加が顕著になりました。また、1割近い人が過労死ラインの80時間を超えています。（中学校では約2割）この結果の大きな要因は人員不足です。人が足りないなか業務削減のスピードが追い付かず個人の業務量が増え続けています。

なり手を増やすためにも職場環境改善を!

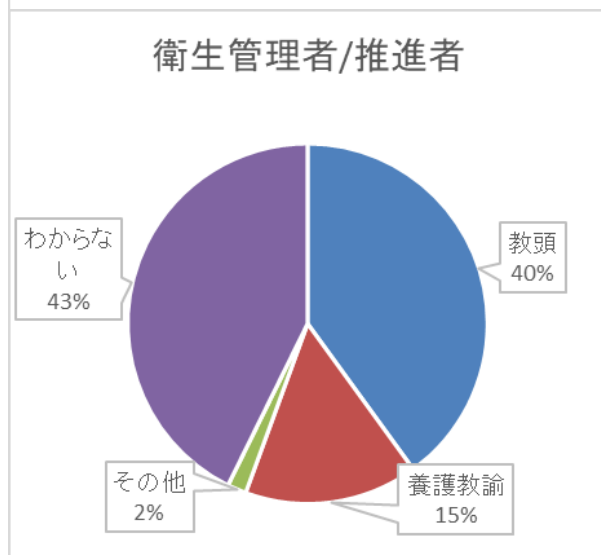
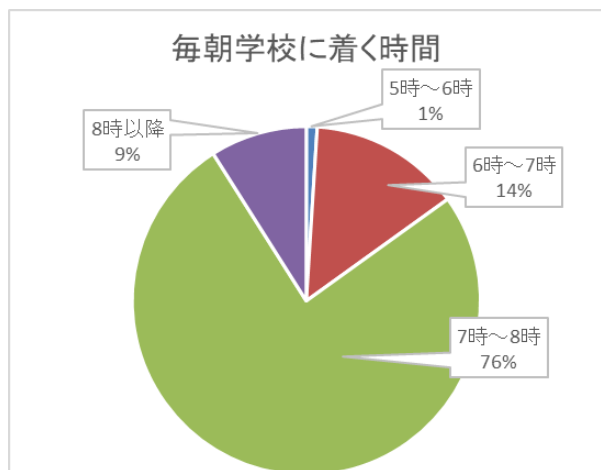
人員不足により年休が取りにくいなど職場環境の悪化にもつながっています。現場で働いている人が「働きやすくなってきた」と本当に感じる職場環境にすることがなり手不足の解消につながります。集団フック洗口や各種検定試験、時間外の交通安全指導、各種調査・報告など教員の本来業務でないものが多すぎます。市町村によっては教育論文をなくしたり、学校訪問で指導案の提出を求めなかったりするなど削減できるところから具体的に着手する動きも出てきています。

熊教組は本来業務に注力するための業務削減を県や市町村に求めていきます!

働きやすい職場づくりアンケートより

2023 熊本県教職員組合 **その2**

その1に続いてアンケート結果を報告します。



極早朝出勤わずかながら減少するも、なかなか進まない労働安全衛生

午前7時以前に毎日出勤している人は15%で昨年より2ポイント減少しました。しかし5時台に学校に着いている人が昨年同様1%います。朝だけでほぼ月当たりの上限45時間になってしまいます。睡眠時間はどれだけとれているのでしょうか。本来なら管理職がそういった実態を見過ごさず職員の健康管理も配慮しなければなりません。長時間労働が常態化し、超過勤務ありきの学校運営では持続できません。

また「あなたの学校の衛生管理者(推進者)は誰ですか?」と問われて「わからない」という人が今年も43%いました。毎回同程度の結果です。「衛生管理者(推進者)の姿が見えない=学校の労働安全衛生が進んでいない」ということです。衛生管理者(推進者)は職員が衛生的かつ健康的に仕事を行えるように職場環境を整えたり、校長に改善案を提言したりできる役割があります。また、職員が50人以上の学校では毎月1回衛生委員会を開催し、在校等時間の記録をもとに長時間労働縮減や業務削減などの協議を行い、決まったことを職員に知らせる義務が法律(労働安全衛生法)で定められています。労働者である職員にとって衛生管理者(推進者)は強い味方なのです。今こそ、その活躍が求められます。

気になる若手へのハラスメント

◆3年目までは論文を書くよう圧力がある。昨年、書かないと言った先生に、校長から指示された教頭から、「はい」というまで説得された。◆お茶汲み、期限ギリギリに仕事を回してくる等。「若いから」「若手だから」という理由でこちらの容量を超えたことを要求される。◆教頭からの初任者への圧が強すぎる。初任者に大声で顔間近で叱責することもある。公に出たらアウトのレベル。初任者に対しては一切お礼さえ言わない。◆校長が若手の女性の先生に「ちゃんとやってる?」のような声かけを職員室で大声で言う。◆子どもの前で怒られる。◆初任者の授業についての酷評を職員室で話されていること。3年目としてはとても辛いです。◆全体の前で威圧的に年下の同僚の女性を叱る。結婚や出産の時期を遠慮なくつこく聞いているのを見たことがある。

などハラスメントに関する項目では若い方々に対するものが多く見受けられました。「ハラスメントがある」と回答したのは9%でした。ここ数年大量退職に伴う大量採用が続き、若い先生方が増えています。皆さんの職場はいかがでしょうか。

本来学校は楽しいところです。友だちがいて、楽しく学び、元気に遊ぶ。先生たちも子どもたちの成長を夢見て働いています。

長時間労働をなくし、本来の学校の姿に戻れば、きっと学校で働きたい人も増えます。その実現のためいっしょに考え行動していきましょう。

熊本県教職員組合はあなたのご加入をお待ちしています

加入はこちらから

